

「データサイエンス国際シンポジウム 2023」

－ アジア・オセアニア地域におけるオープンデータ協力体制の構築 －

アジア・オセアニア地域におけるCOVID-19等の社会的課題や、様々な地球規模課題(パンデミック・情報氾濫・地球温暖化・異常気象・地域紛争等)に関連した、多様なデータのアーカイブ・公開・利活用促進の現状について情報交換を行う。さらに、同地域のオープンデータに関連した国際ネットワーク形成や、国際的枠組みの中での具体的な連携体制を議論する。

2023年12月12日～15日

ハイブリッド開催

(日本学術会議講堂+オンライン配信)



参加費: 無料

対象: どなたでも参加できます。申込は下記。

定員: 対面 150名、オンライン 1000名(12月12日)
・300名(12月13-15日)

申込フォーム:

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScntvuo6RR16X8PHV SZ26hHnMNES-m2J_FbqGPg3t_orKJu1w/viewform

* 参加申込みをされた方には、当日までに参加用 Zoom URLをメールにてお知らせします。

問合せ:
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
金尾 政紀(kanao[a]nipr.ac.jp)
国立研究開発法人 情報通信研究機構
村山 泰啓(Murayama[a]nict.go.jp)
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
近藤 康久(kondo[a]chikyu.ac.jp)



【プログラム】 (詳細は、https://ds.rois.ac.jp/article/dsws_2023 を参照)

12月12日(火)13:30～17:30 (主に日本語;一般向けの講演会)

総合司会: 門倉 昭 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設極域環境データサイエンスセンター長)

金川 久美子 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設データサイエンス推進室特任専門員)

13:30～14:05 開催挨拶及び趣旨説明

荒木 弘之 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設長)

村山 泰啓 (日本学術会議連携会員・国際サイエンスデータ分科会委員長、国立研究開発法人情報通信研究機構 研究総括・ナレッジハブ長)

澁澤 栄 (日本学術会議会員、アジア学術会議事務局長・財務担当役員、東京農工大学卓越リーダー養成機構 特任教授)

14:05～14:15 休憩

14:15～15:55 第1部「講演:アジア・オセアニア地域の学術データ」

司会: 芦野 俊宏 (日本学術会議特任連携会員、東洋大学国際学部教授)

14:15～14:35 講演Ⅰ「東南アジアの地域研究に係る学術データ」 原 正一郎 (京都大学東南アジア地域研究所連携教授)

14:35～14:55 講演Ⅱ「南アジアの大気汚染に係る学術データ」 林田 佐智子 (奈良女子大学名誉教授、総合地球環境学研究所客員教授)

14:55～15:15 講演Ⅲ「マレーシアのオープンサイエンス・イニシアティブ」 Noorsaadah Abd Rahman (マレーシア大学先端科学研究所 教授)

15:15～15:35 講演Ⅳ「生物多様性条約と遺伝資源に関するデジタル配列情報 (DSI: Digital Sequence Information)の諸課題」

有田 正規 (日本学術会議連携会員、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授DDBJセンター長)

15:35～15:55 講演Ⅴ「データ管理における新テクノロジーと新たな機会」 Jonathan Kool (オーストラリア南極局データセンター長)

15:55～16:05 休憩

16:05～17:25 第2部「パネルディスカッション」

司会: 近藤 康久 (日本学術会議連携会員、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所准教授)

(パネリスト)

石井 守 (国立研究開発法人情報通信研究機構電磁波研究所電磁波伝搬研究センター長)

前田 忠彦 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設社会データ構造化センター長)

箕輪 真理 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設データサイエンス推進室特任准教授)

松本 淳 (東京都立大学都市環境科学研究科 客員教授)、春山 成子 (三重大学名誉教授)

17:25～17:30 閉会挨拶(総合司会)

12月13日(水)10:00～17:30 (英語のみ;国際セッション)

「開会セッション・基調講演」、「データシステムとネットワークの課題」、「オープンサイエンスとFAIR原則」、「ポスターセッション1」

12月14日(木)10:00～17:30 (英語のみ;国際セッション)

「COVID-19データから得られた教訓」、「データサイエンスの最近の進展」、「若手研究者と科学者の関与」、「ポスターセッション2」

12月15日(金)10:00～17:30 (英語のみ;国際セッション)

「アジア-オセアニア データフォーラム」、「GEO寒冷地イニシアティブ」、「ストラテジック ディスカッション」、「ポスターセッション3」

主催: 日本学術会議 情報学委員会、情報学委員会 国際サイエンスデータ分科会

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設

後援: 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構、国立研究開発法人 情報通信研究機構

国際学術会議 世界データシステム、国際学術会議 科学技術データ委員会、日本DNAデータバンク